

発達障害支援（演習）

第2回

【日程】

※第1回（11月実施）と同内容です。

1月12日（木）終日

【場所】 特別区職員研修所

1月31日（火）午前

（千代田区九段北1-1-4）



対象 発達障害のある子どもへの支援に携わる職員、子ども家庭福祉行政に携わる職員
【定員55名】

ねらい 発達障害や育てにくさを持つ子ども及びその家族の様々な問題に関して、事例演習やロールプレイを通して支援策を習得し、対応力の向上を図る。



幼児から小学校低学年の児童と実際に関わる職員に特におすすめです。

1月	時間	教科目	講師（敬称略）
12日 （木）	9:00 ～ 17:00	「子どもの発達の捉え方と発達障害の理解」（講義） 「保護者サポートとペアレント・トレーニング、 ティーチャーズ・トレーニング」（講義） 「ティーチャーズ・トレーニング①」（演習） ・子どもの行動を3種類に分ける ・肯定的な注目の与え方 ・効果的な指示の出し方①	まめの木クリニック・ 発達臨床研究所 臨床心理士 楠田 絵美 石塚 祐衣
31日 （火）	9:00 ～ 12:30	「ティーチャーズ・トレーニング②」（演習） ・1日目の内容を職場で実践した結果の共有 ・効果的な指示の出し方② ・まとめ	
計		1.5日間（10.5時間）	

【ティーチャーズ・トレーニング・プログラム（TTP）】

ペアレント・トレーニングを保育・教育現場向けに応用したプログラムです。
親グループの運営方法を学ぶプログラムとは異なります。

子ども一人ひとりの行動特徴を理解し、効果的な対応法を取り入れることによって、子どもとのコミュニケーションを改善し、子どもと支援に携わる職員自身の自己有能感を取り戻すことを目指しています。

